

お知らせ: 次回発信日は6月11日週報(予定)

Jミルクが2026年1月30日に公表した「需給見通し(※2025年11月迄実績)」の予測値と直近の実績値(牛乳乳製品統計)をグラフ化しています。

「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

【4月の統計実績】

● 生乳生産量

全国が、前年同月比▲1.4%(日均量、以下同)となり、4カ月連続で前年水準を下回った。地域別では、北海道が▲0.9%と全国同様に4カ月連続で前年水準を下回り、都府県は▲2.0%と8カ月連続で前年水準を下回り前月から減少幅が拡大した。指定団体受託乳量(速報)は、北海道(ホクレン)では3月下旬から7旬連続で前年水準を下回り、都府県では10月上旬から23旬連続で前年水準を下回っている。

● 牛乳等生産量

牛乳の生産量は、前年同月比▲1.9%と9カ月連続で前年水準を下回った。学乳および業務用を除く牛乳(=家庭用)は3カ月連続、成分調整牛乳が71カ月連続、加工乳が9カ月連続、乳飲料も9カ月連続で前年水準を下回っており、牛乳類全体としては9カ月連続で前年割れとなった。発酵乳については、2カ月連続で前年水準を下回ったものの、2024年4月の水準は上回った。以上の結果、生乳の飲用等向処理量は、前年同月比▲2.0%と9カ月連続で前年水準を下回ったものの前月から減少幅は縮小した。生乳供給量、飲用等向処理量どちらも減少したが、生乳供給量の減少による影響が大きく、乳製品向けは▲0.8%と3カ月ぶりに前年水準を下回った。

● 乳製品需給

脱脂粉乳は、生産量が15.2千ト(▲1.9%)、推定出回り量は11.8千ト(同+1.6%)と需要量が供給量を下回った結果、在庫量は前月から約3.5千ト増加し、月末在庫量は73.0千ト(同+30.4%)と17カ月連続で前年水準を上回り、2か月ぶりに70千トを上回った。一方、バターは生産量が7.9千ト(+1.3%)、推定出回り量が6.5千ト(▲1.1%)、輸入売渡数量が0.8千トとなり、需要量が供給量を下回った結果、在庫量は約2.1千ト増加して36.1千ト(+22.3%)となった。在庫量は20カ月連続で前年水準を上回っている。

【5月および5/25週の販売動向データ】

● 5月の牛乳類トータルの販売個数は、23カ月ぶりに前年水準を上回った。内訳を見ると、牛乳の販売個数は2カ月連続で前年水準を上回ったものの、その他の品目はいずれも前年水準を下回った。

直近週(5/25週)では、牛乳類トータルの販売個数が2週ぶりに前年水準を上回った。内訳を見ると、牛乳単体の販売個数は6週連続で前年水準を上回り、2024年10月以来84週ぶりに+5%の水準を上回った。地域別に牛乳類の販売個数を見ると北海道以外のすべての地域が前年水準を上回った。

● 発酵乳の5/25週の合計販売数量は、個数ベースが2週ぶり、容量ベースが6週連続で前年水準を上回った。内訳を見ると、ドリンクタイプが2週ぶり、個食タイプが4週ぶり、大容量タイプが24週連続で前年水準を上回った。

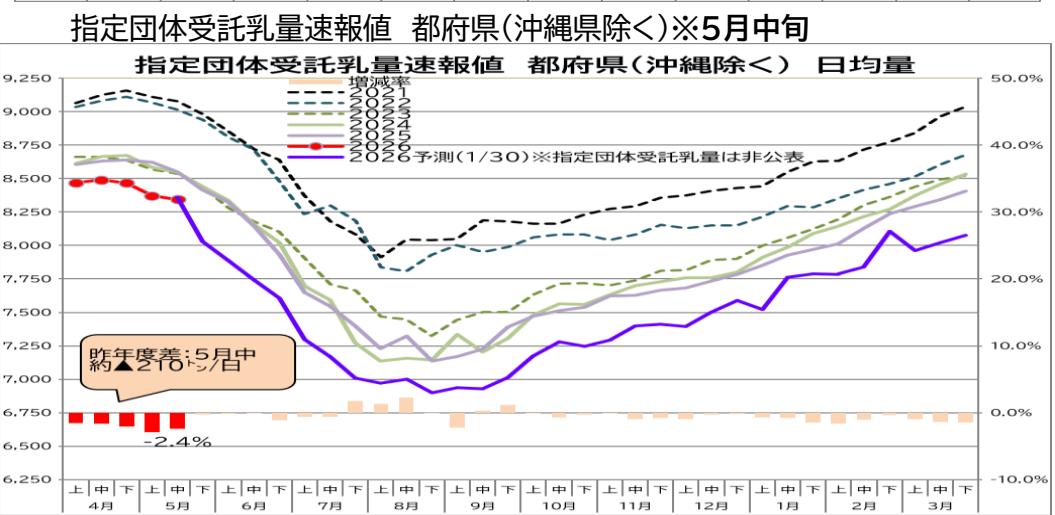
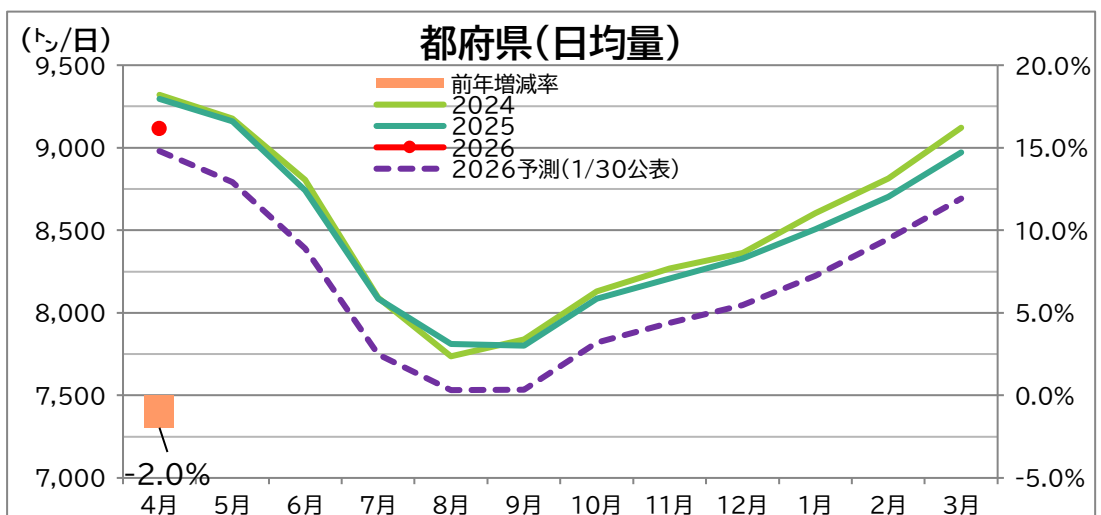
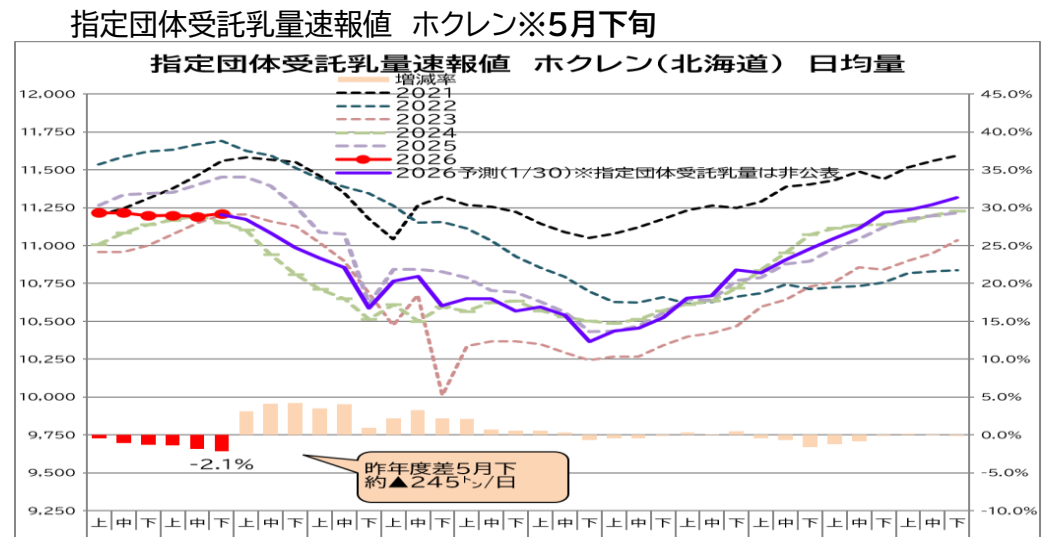
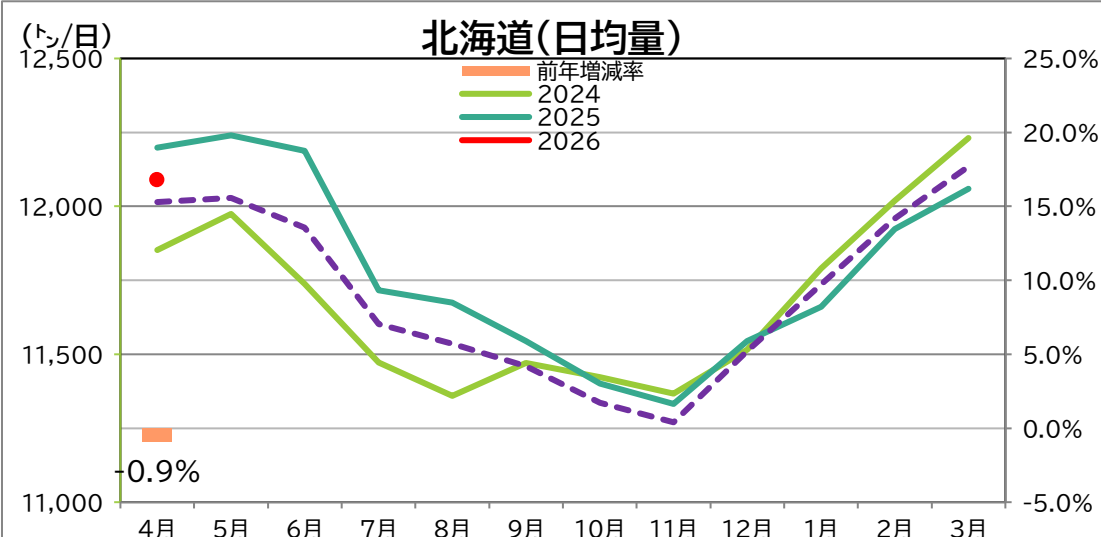
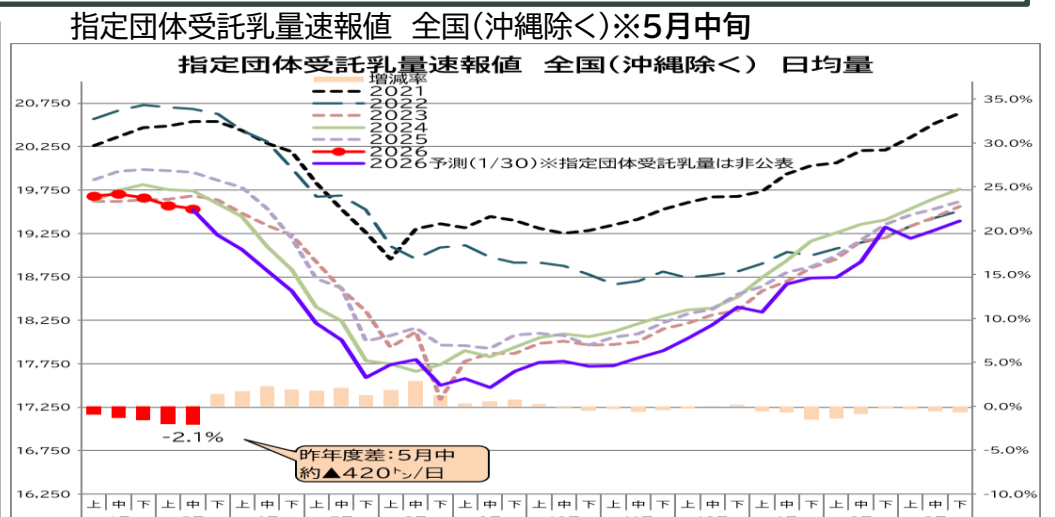
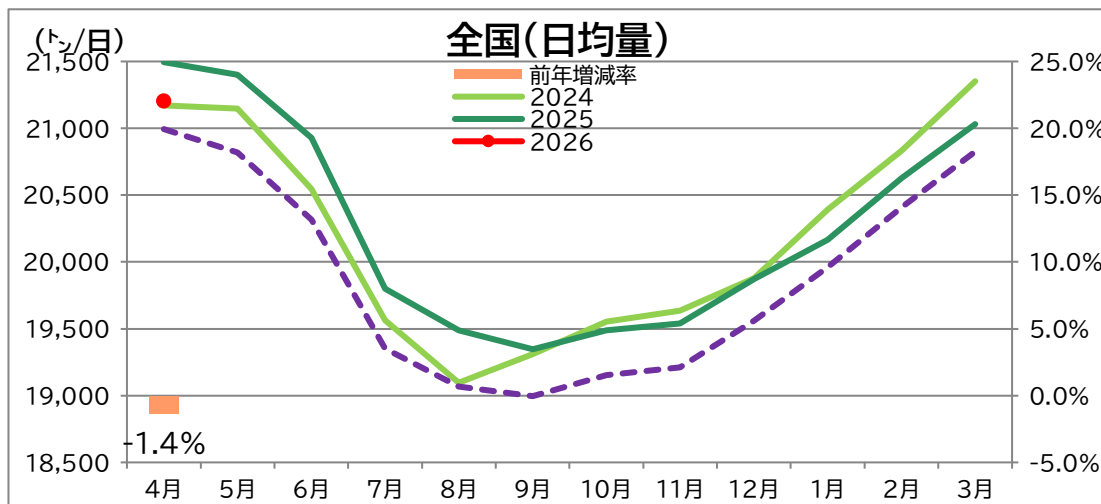
● 家庭用バターの5/25週の販売個数は、4週連続で前年水準を下回った。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳生産量は、全国636.1千ト(前年同月比98.6%)、北海道362.7千ト(同99.1%)、都府県273.4千ト(同98.0%)。

(2)1月30日に公表したJミルク予測値(全国629.8千ト、北海道360.4千ト、都府県269.4千ト)との比較は北海道・都府県ともに上振れした。

(3)直近の指定団体受託乳量速報値は全国が5月中旬(最新、以下同)で同97.9%、都府県(沖縄除く)が同97.6%、北海道は5月下旬が同97.9%となった。

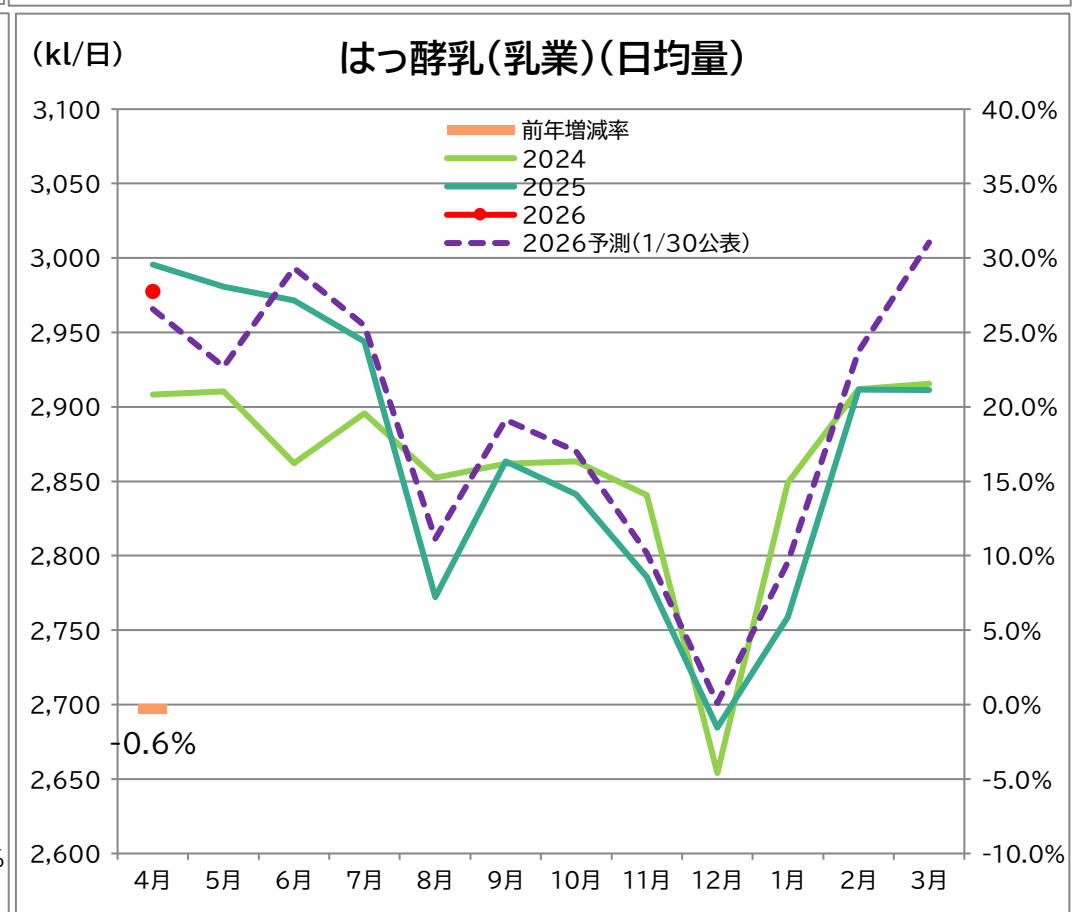
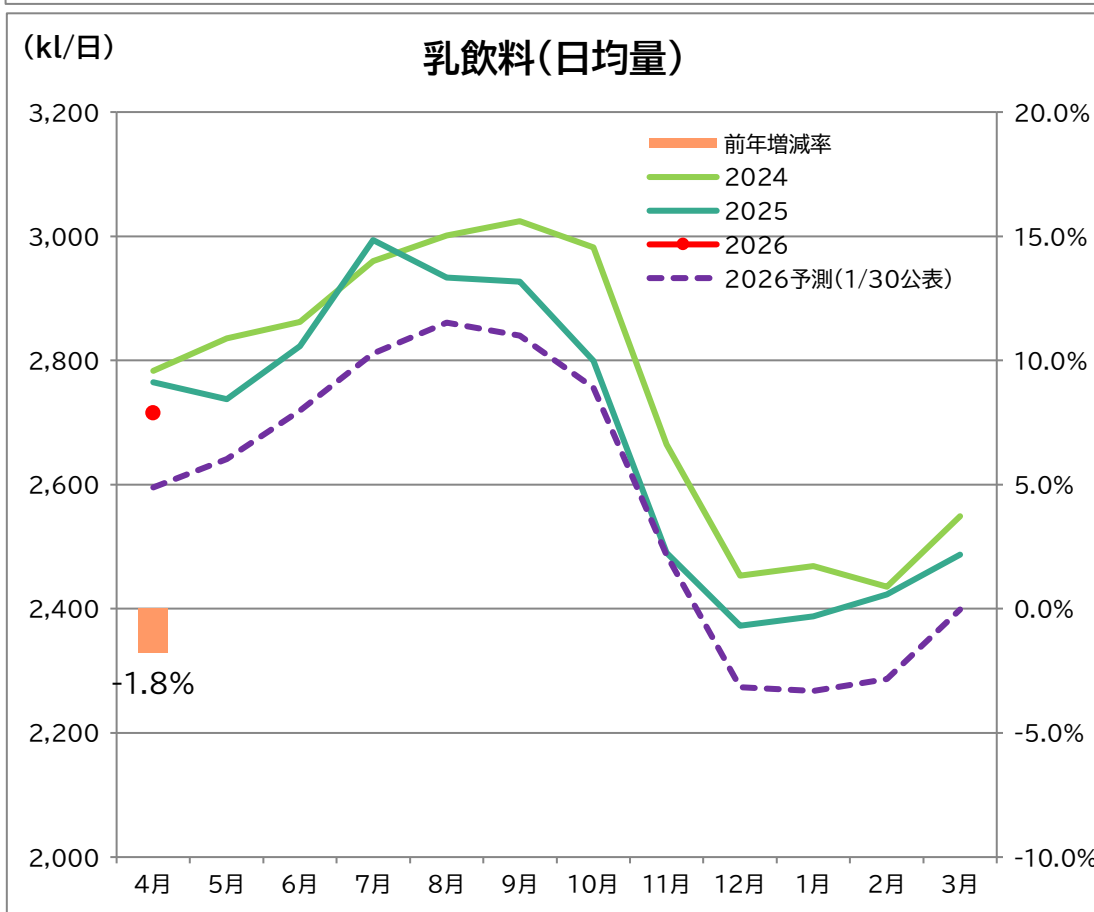
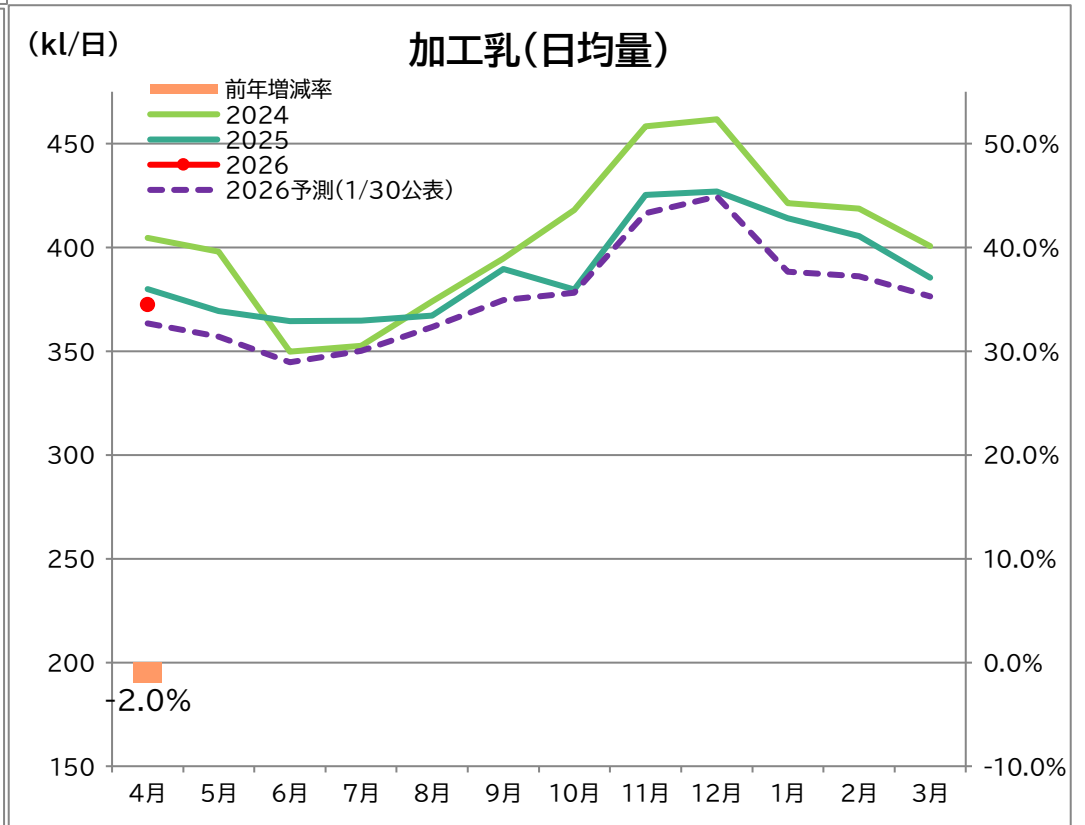
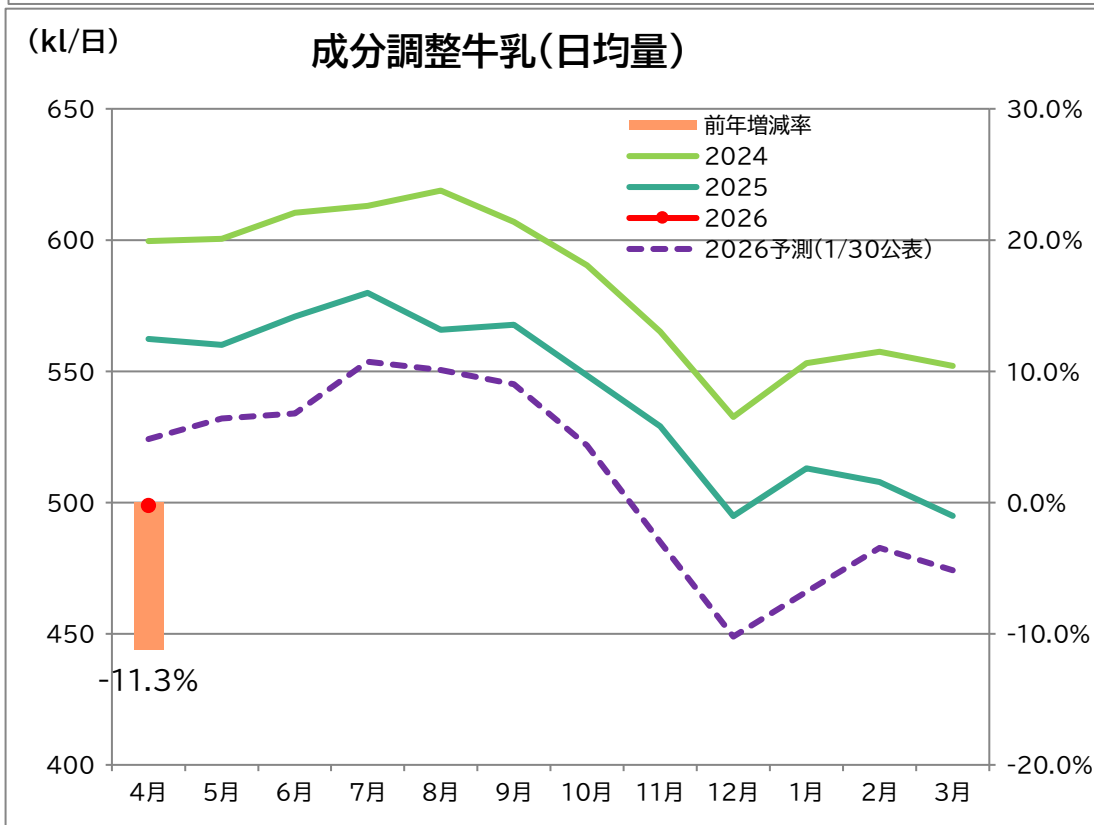
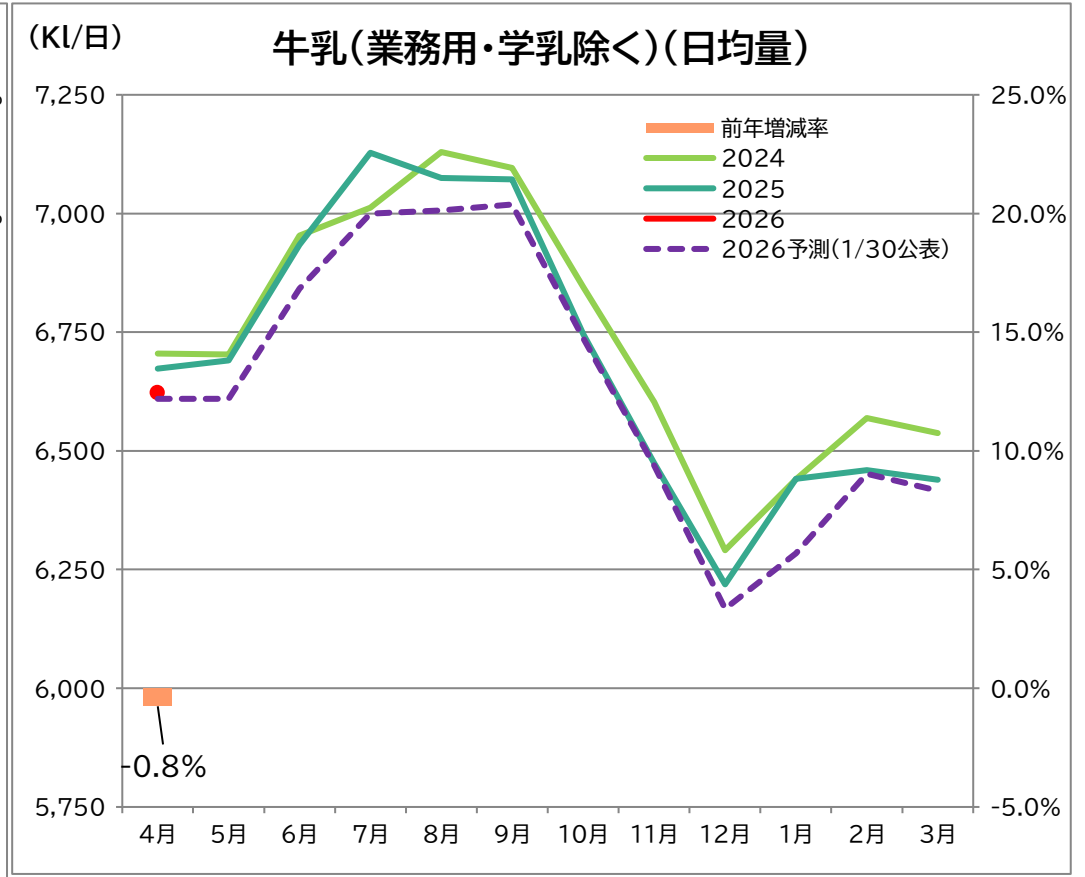
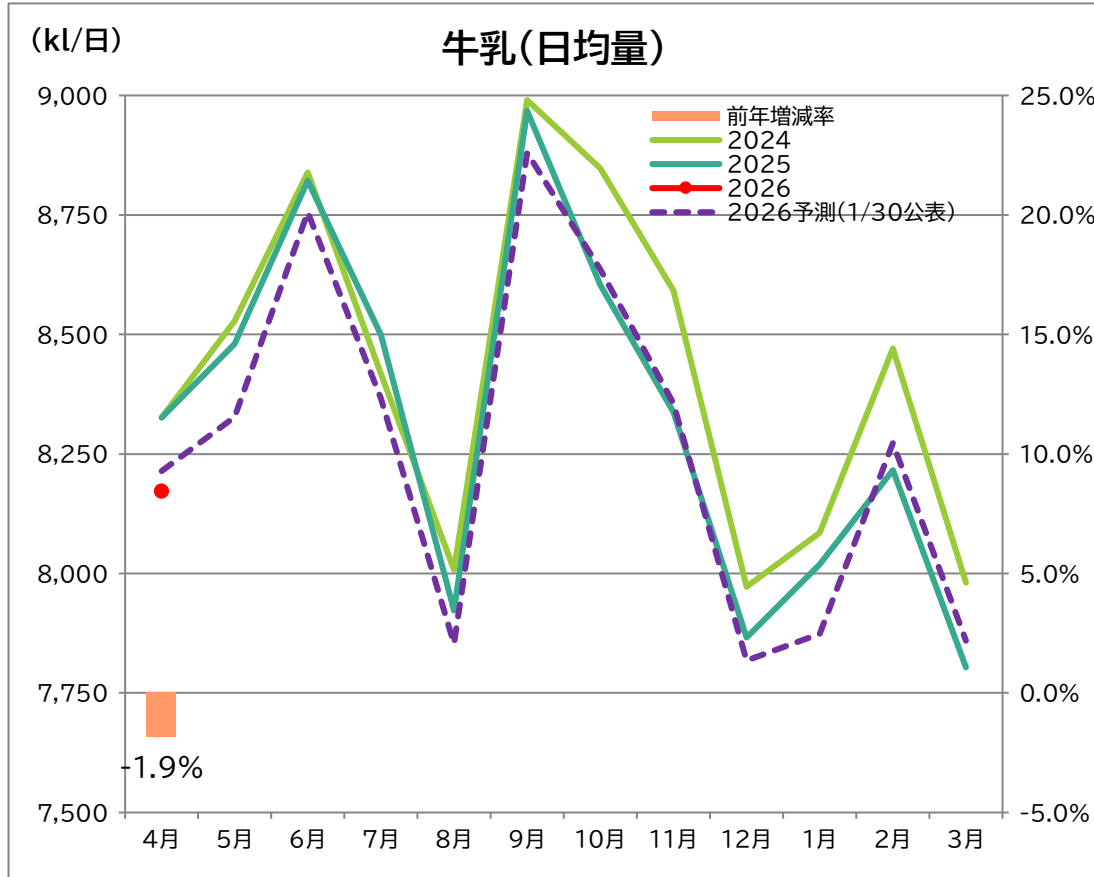


【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の牛乳等生産量は、牛乳245.2千kl(前年同月比98.1%)、成分調整牛乳15.0千kl(同88.7%)、加工乳11.2千kl(同98.0%)、乳飲料81.5千kl(同98.2%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では、352.8千kl(同97.7%)となり、9カ月連続で前年を下回った。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同99.2%、「業務用」は同88.5%、「学乳」は98.3%。

(3)はっ酵乳(乳業)は89.3千kl(同99.4%)、はっ酵乳(非乳業:3月実績)は97.6%となった。

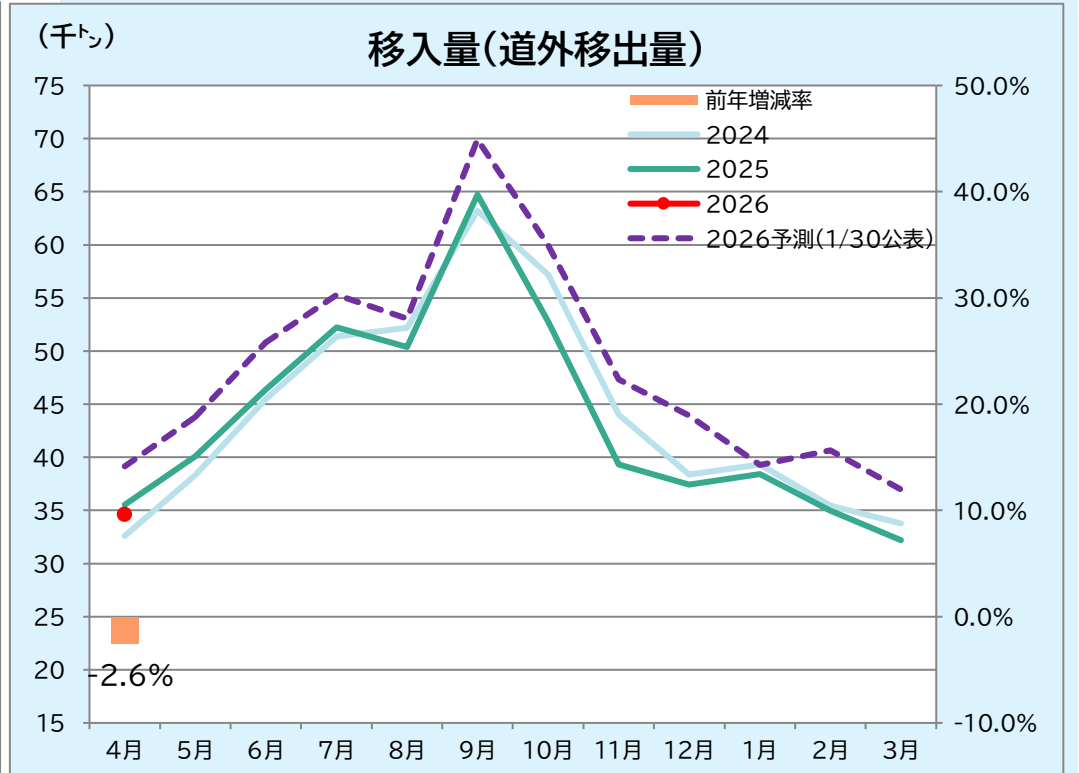
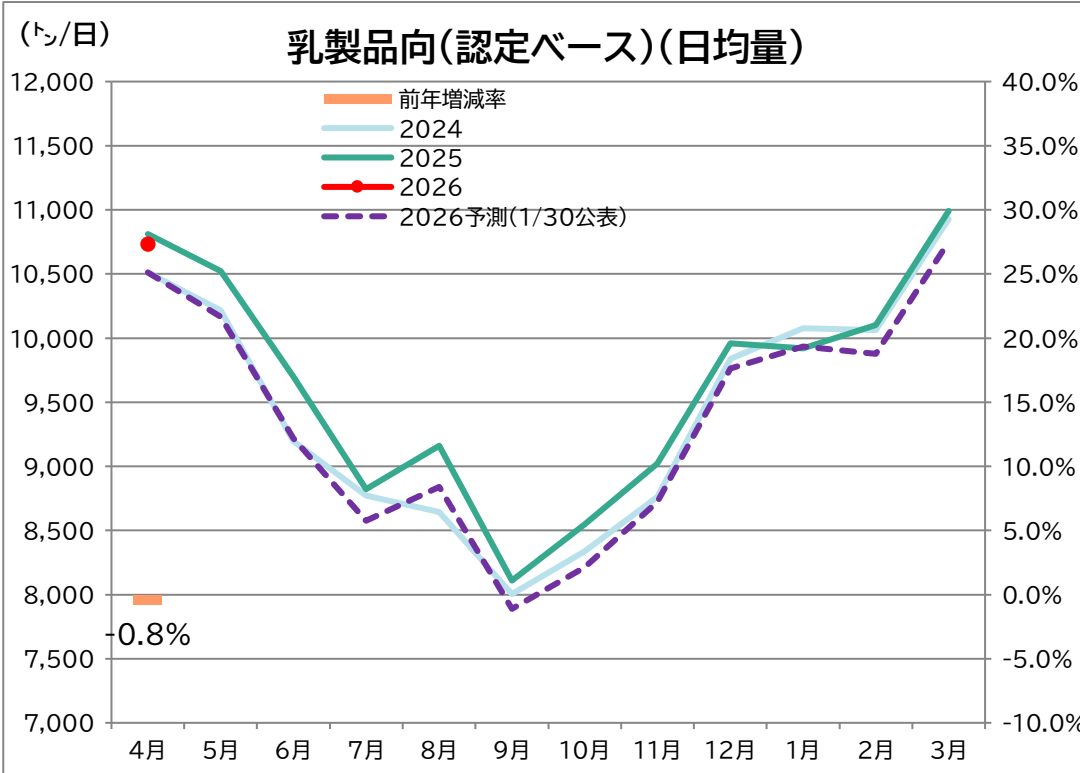
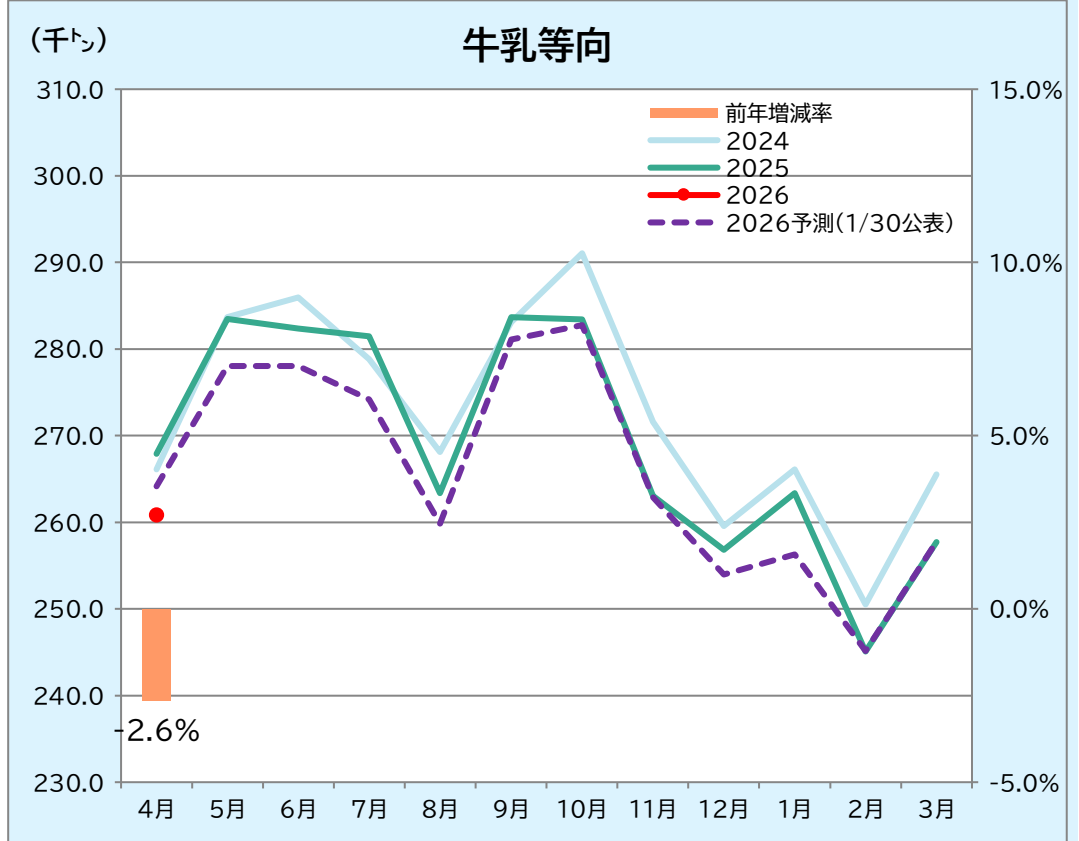
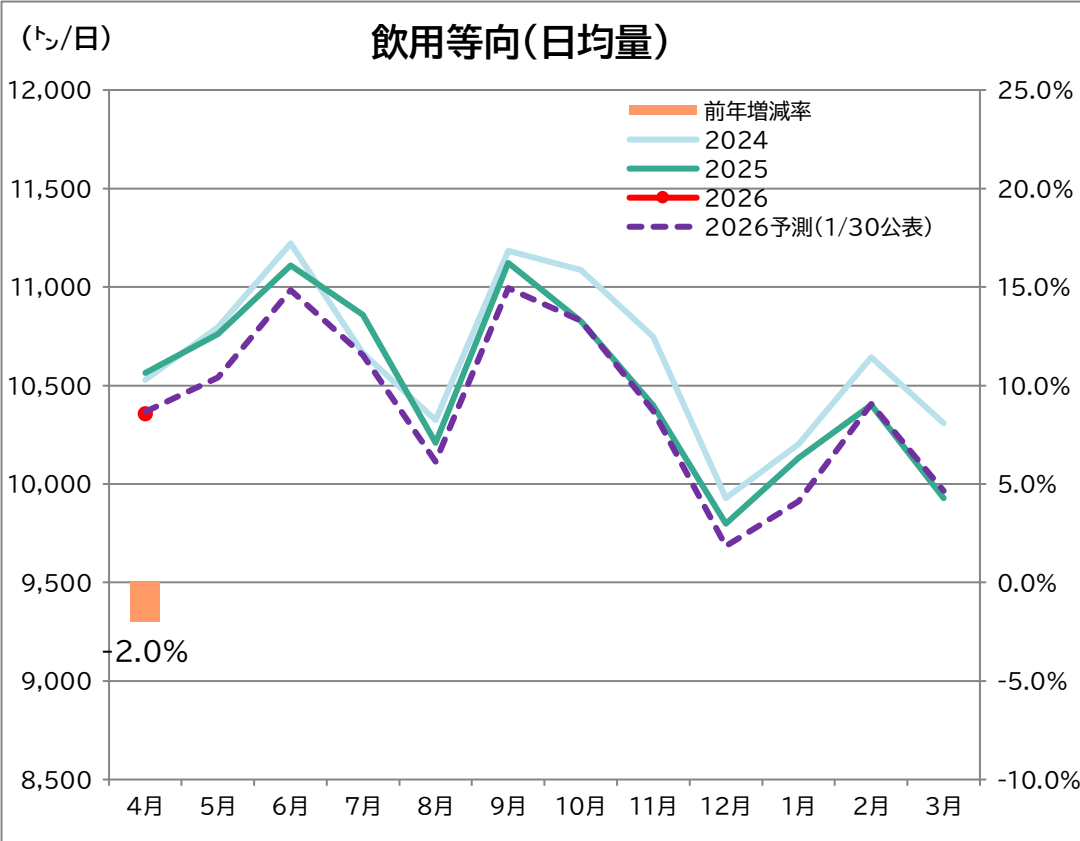
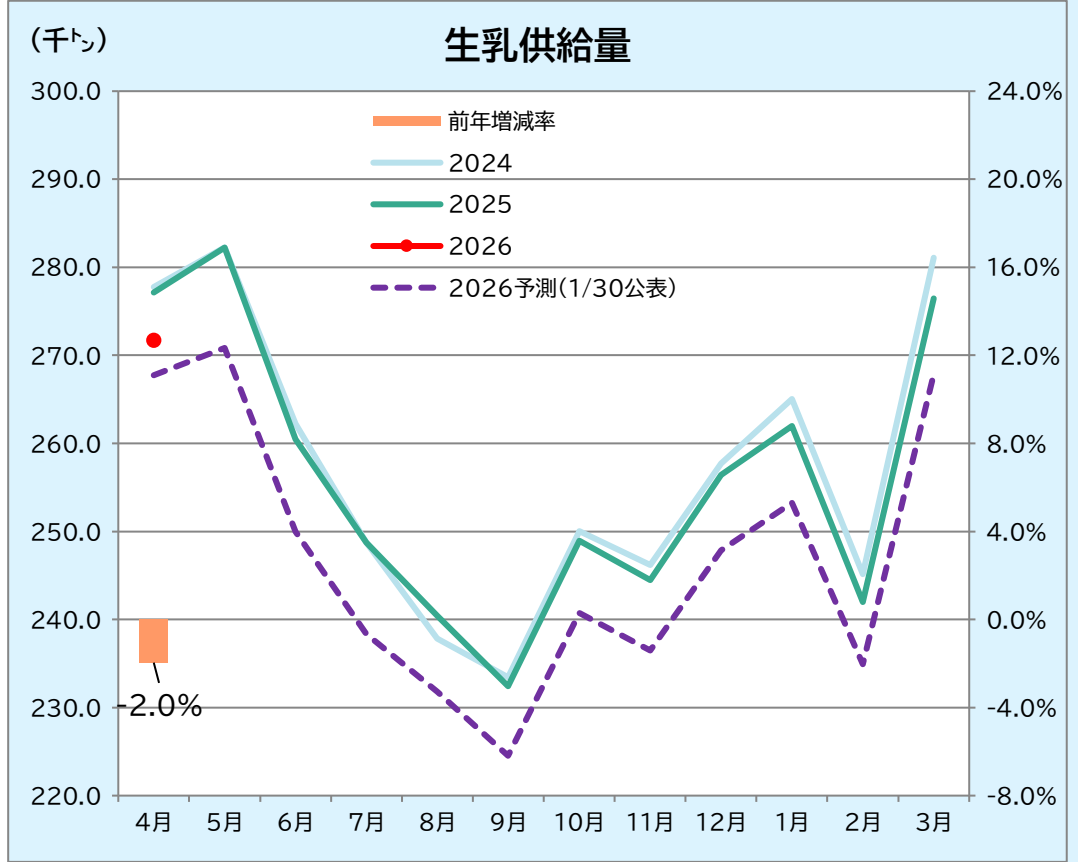
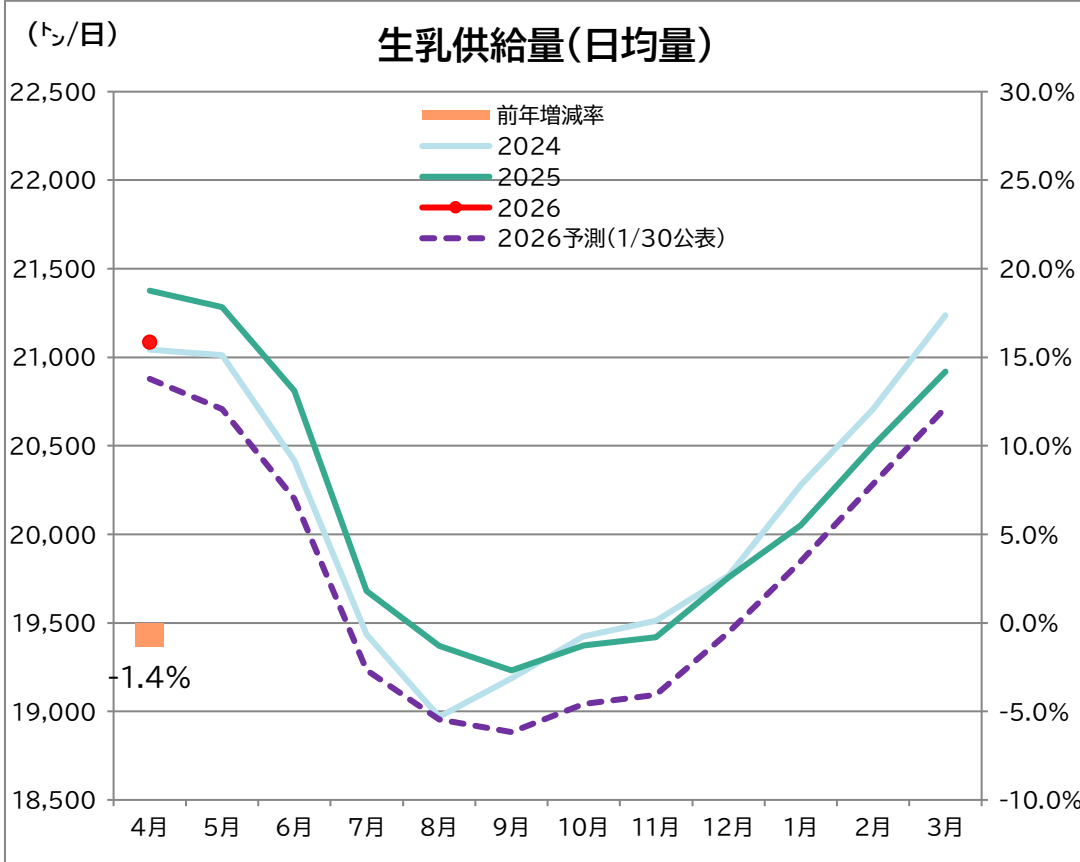


【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。

(1)4月の生乳供給量は632.6千ト(前年同月比98.6%)、飲用等310.6千ト(同98.0%)、乳製品向(認定ベース)321.9千ト(同99.2%)。  
 (2)飲用等向が9か月連続で前年を下回り、生乳供給量が7カ月連続で前年を下回った結果、乳製品向は3か月ぶりに前年を下回った。  
 (3)1月30日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:626.3千ト)は上振れ、飲用等向(予測値:311.0千ト)は下振れ、乳製品向(予測値:315.3千ト)は上振れとなった。

【都府県の生乳需給】

(1)4月は、生乳供給量271.7千ト(前年同月比98.0%)、牛乳等向260.8千ト(同97.4%)。  
 (2)北海道からの移入量については34.6千ト(同97.4%)と7カ月連続で前年を下回った。  
 (3)1月30日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:267.7千ト)は上振れ、牛乳等向(予測値:264.2千ト)は下振れ、移入量(予測値:39.2千ト)も下振れとなった。



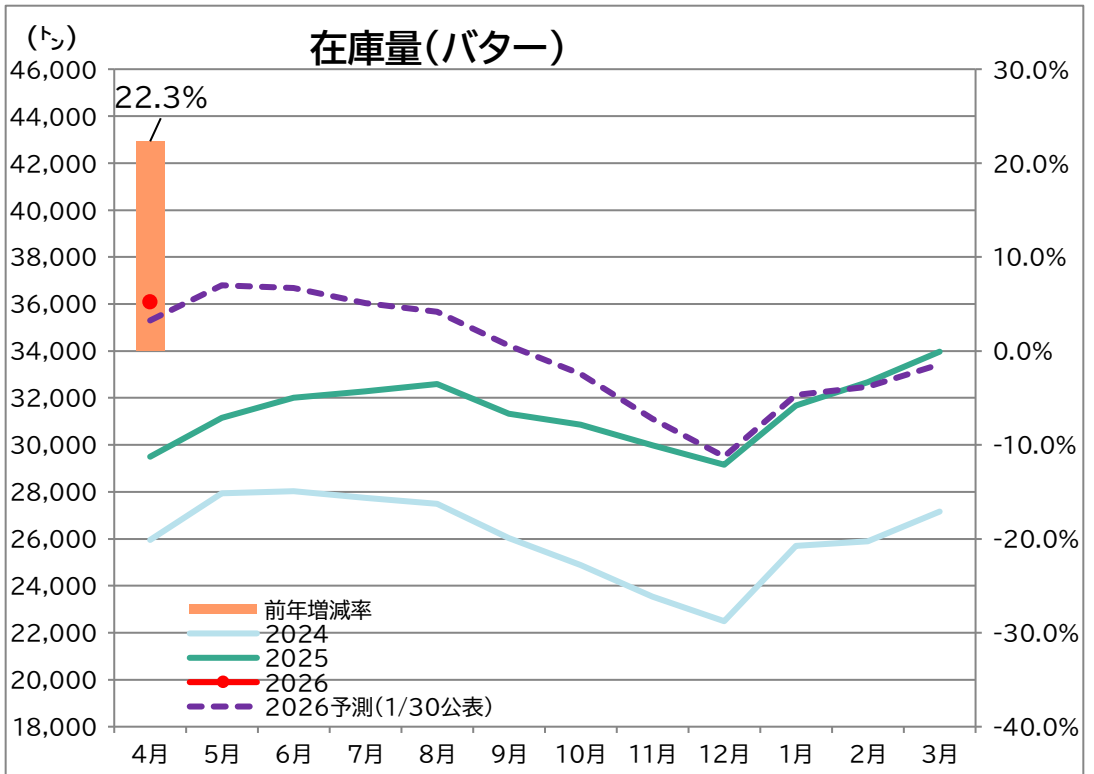
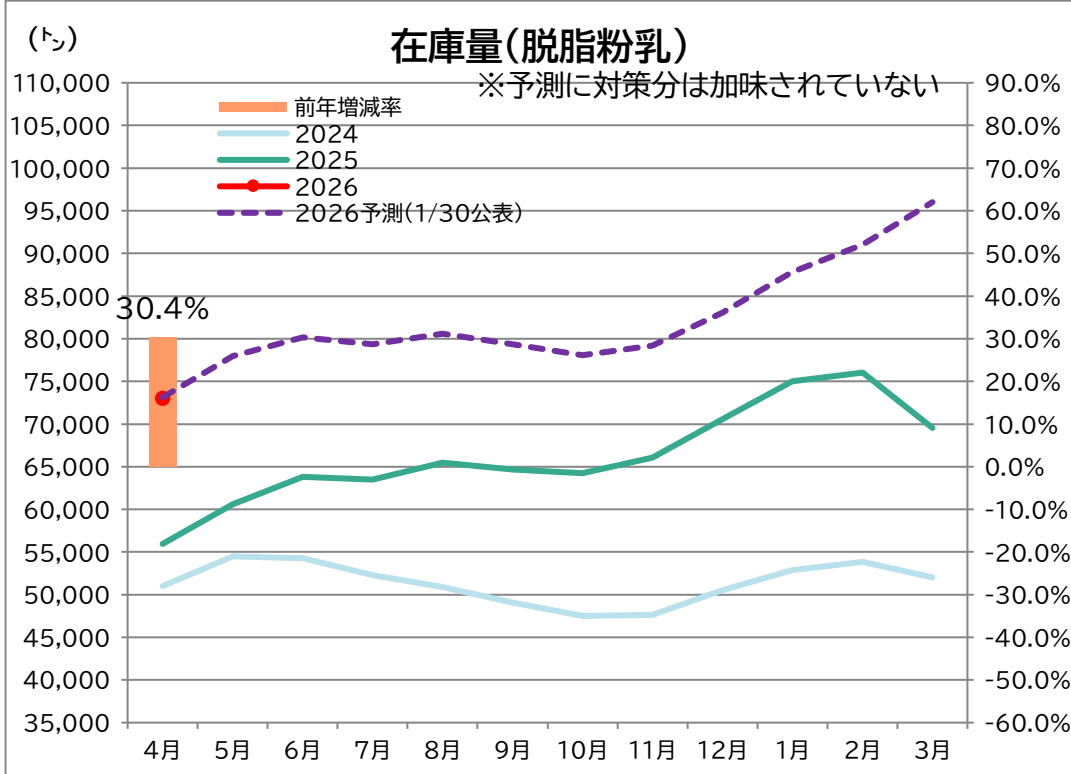
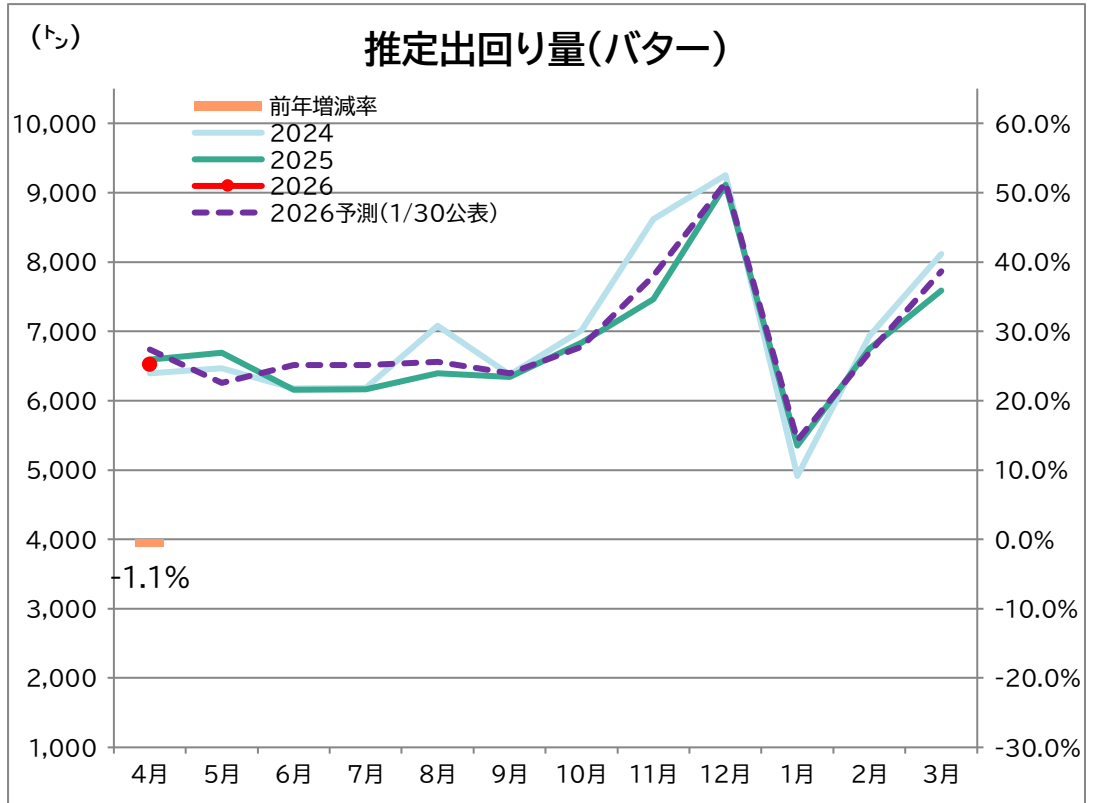
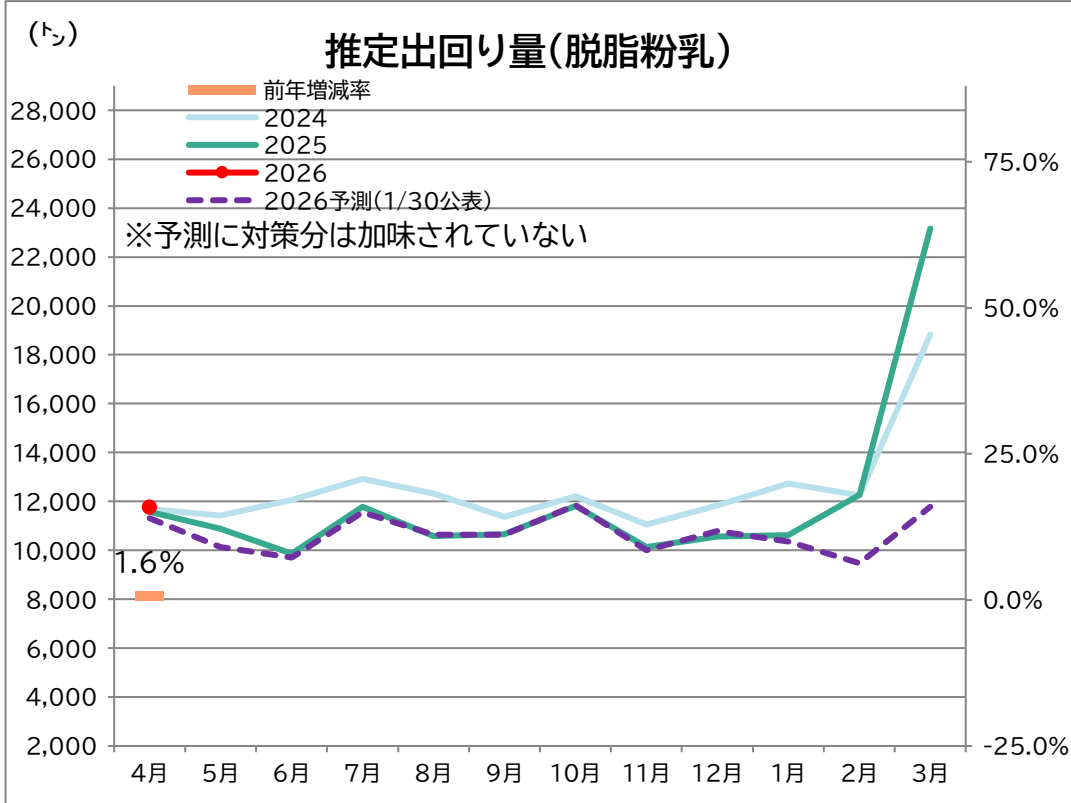
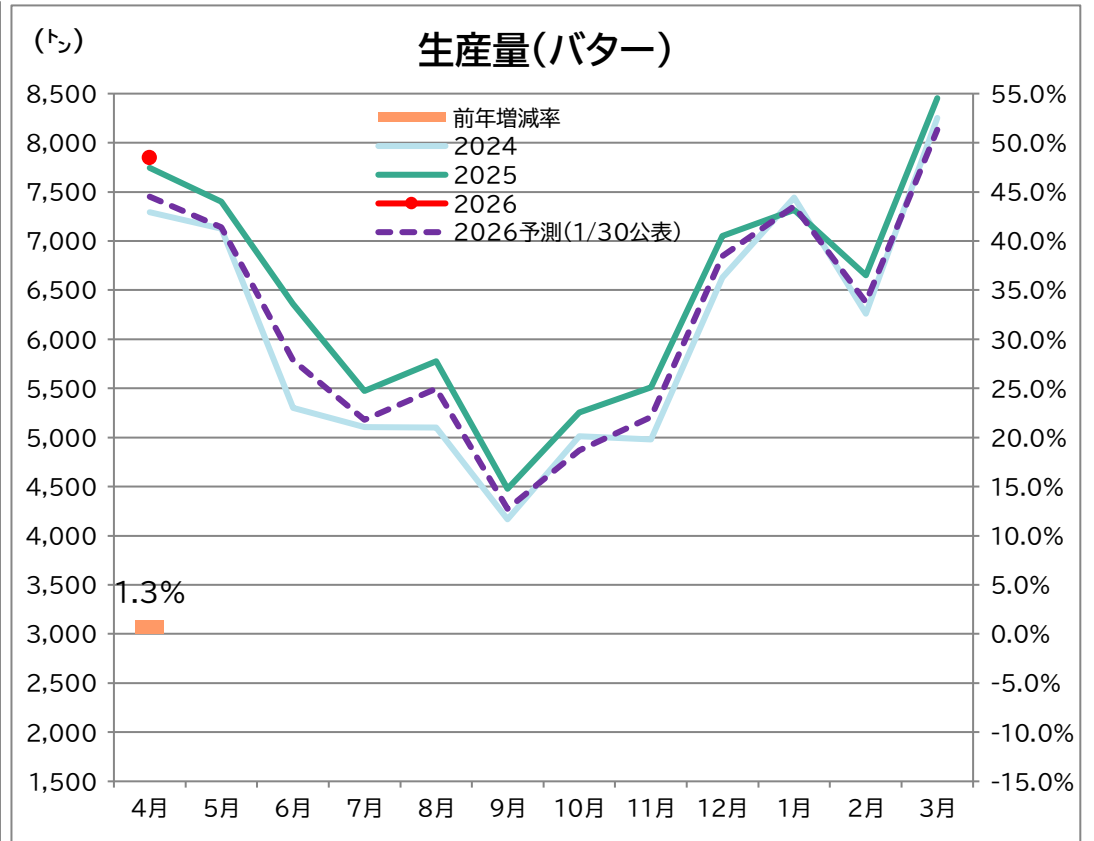
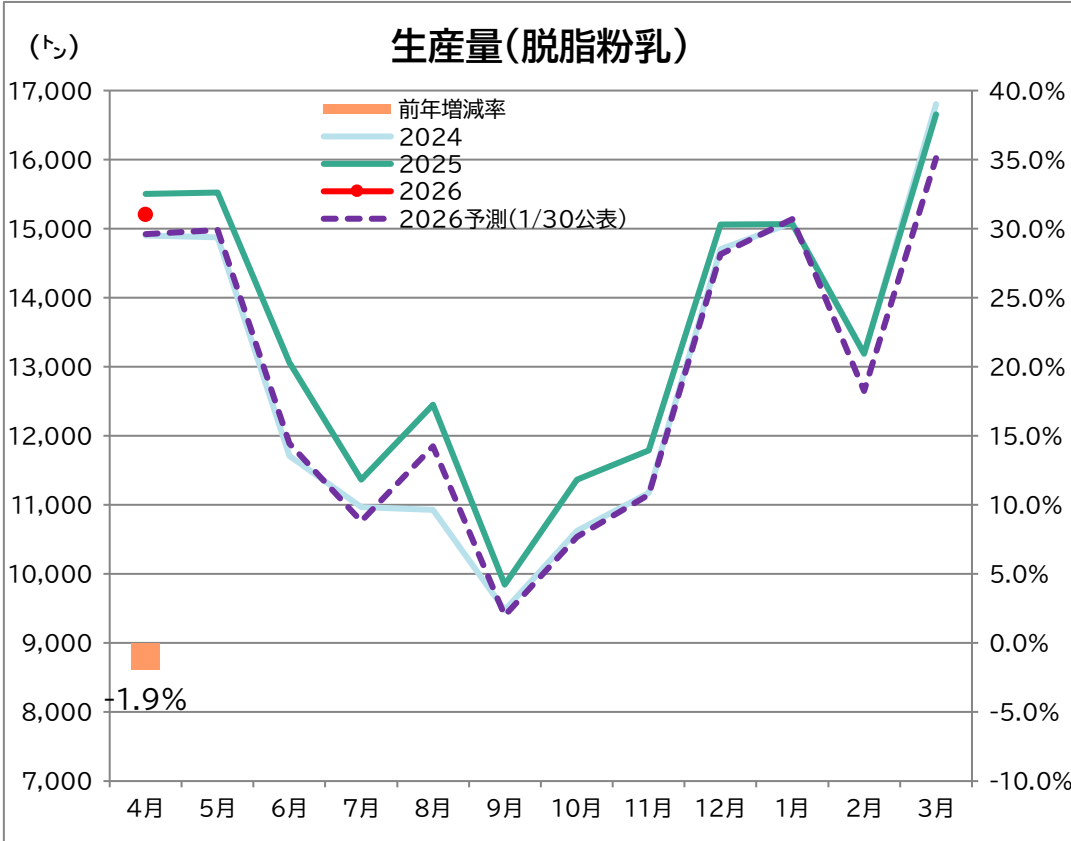
## 【脱脂粉乳・バターの需給】

(1)脱脂粉乳について4月の生産量は15.2千ト(前年同月98.1%)、推定出回り量は11.8千ト(同101.6%)となった。出回り量が生産量を下回り在庫量は前月から3.5千ト程度増加し、73.0千ト(同130.4%)となった。在庫量は2024年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回りそれ以降、16カ月連続で前年超えで推移している。2026年3月には4か月ぶりに7万トを下回ったが、4月は再び7万ト台に増加した。

※なお、推定出回り量の実績について、需給変動対策による在庫低減対策を差し引いた数量は98.8%。

(2)バターについて、4月の生産量は7.9千ト(同101.3%)、推定出回り量は6.5千ト(同98.9%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約0.8千ト)も考慮すると在庫量は前月から約2.1千ト増加し36.1千ト(同122.3%)となった。在庫量は20カ月連続で前年超え。

➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図る必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)5月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比104.1%、成分調整牛乳:同86.9%、加工乳:同91.5%、乳飲料:同98.5%。牛乳類全体:同102.0%

【参考】2024年5月比…牛乳:101.8%、成分調整牛乳:83.5%、加工乳:76.2%、乳飲料:92.6%(牛乳類トータル:98.8%)

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(5/25週)の販売個数は、牛乳:前年同期比105.6%、成分調整牛乳:同87.3%、加工乳:同93.9%、乳飲料:同100.2%。牛乳類トータルでは同103.5%

出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

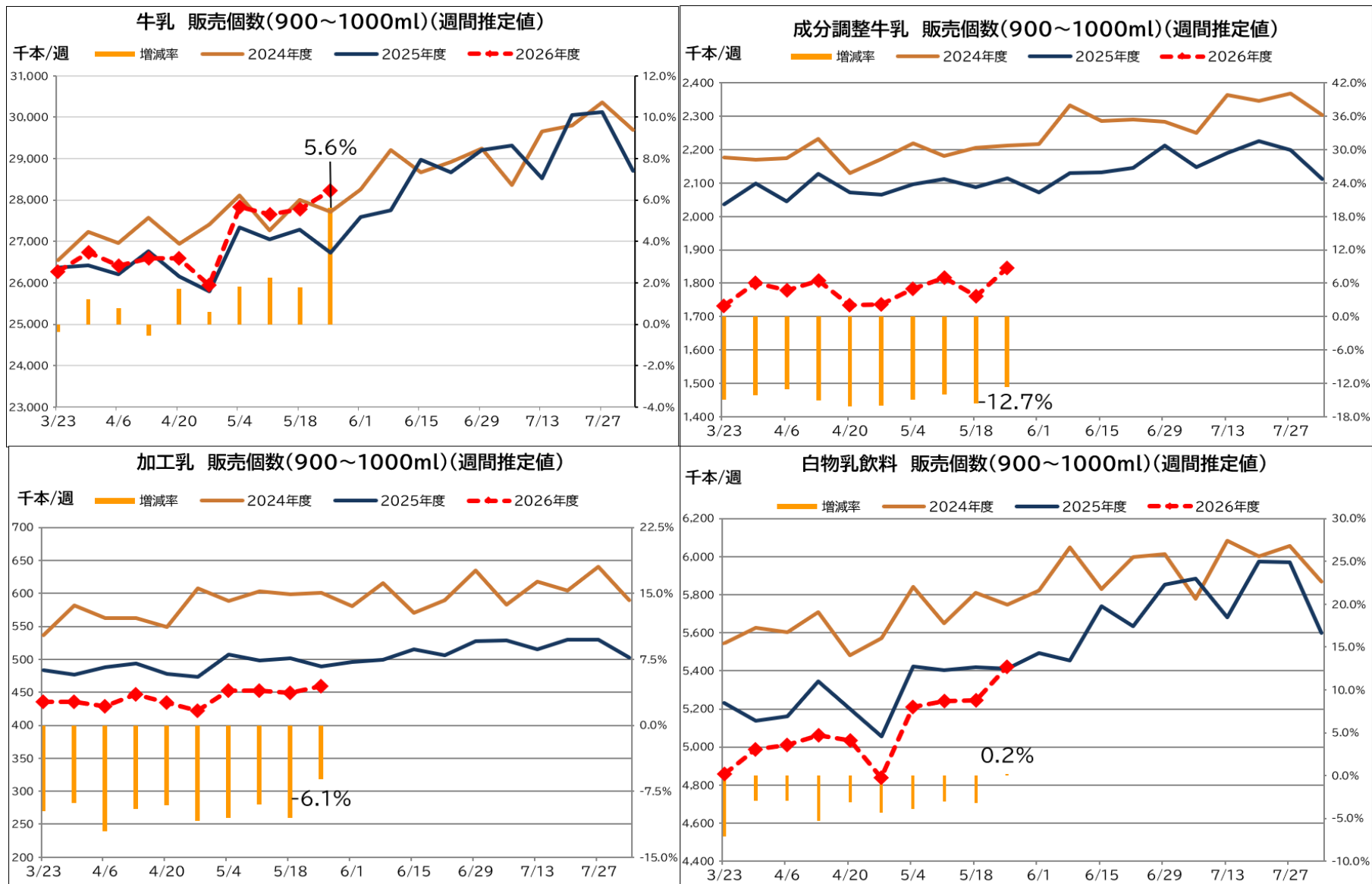
単位:千個、円

品目	区分	2025/12-	2026/1-	2026/2-	2026/3-	2026/4-	2026/5-	2026/5- 2022/10価格差	2026/5- 2023/3価格差	2026/5- 2023/7価格差	2026/5- 2025/7価格差
		販売個数	145,307	140,048	131,371	146,106	144,517	156,278			
トータル	販売個数前年比	97.0	98.3	97.8	97.6	98.8	102.0	42.1	27.0	25.2	8.9
	販売単価	226.3	226.2	225.8	225.2	225.3	225.2				
牛乳	販売個数	113,669	109,701	103,162	115,117	113,587	123,082				
	販売個数前年比	98.3	100.0	99.7	99.6	100.6	104.1	43.5	27.2	26.4	8.6
成分調整牛乳	販売個数	8,590	8,035	7,252	7,718	7,576	7,992				
	販売個数前年比	91.9	90.5	86.5	85.0	84.7	86.9	44.6	29.0	25.4	11.7
加工乳	販売個数	2,034	1,947	1,750	1,925	1,867	1,993				
	販売個数前年比	90.0	95.0	92.5	90.4	90.1	91.5	44.6	34.9	24.7	13.2
乳飲料	販売個数	21,014	20,366	19,207	21,345	21,486	23,210				
	販売個数前年比	93.0	93.3	93.6	93.0	96.3	98.5	31.8	21.2	17.5	7.7
	販売単価	182.7	181.8	181.7	181.2	182.0	181.3				

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-	26.5.25- 22.10.24 価格差	26.5.25- 23.3.20 価格差	26.5.25- 23.7.24 価格差	26.5.25- 25.7.21 価格差
		販売個数	33,633	33,913	33,801	32,934	35,284	35,162	35,233	35,953	42.0	27.1	24.7
トータル	販売個数前年比	99.2	97.6	99.7	98.7	99.8	100.3	99.8	103.5				
	販売単価	225.4	225.4	225.0	225.8	224.9	225.2	225.3	225.2				
牛乳	販売個数	26,415	26,595	26,595	25,939	27,838	27,652	27,776	28,227	43.7	27.4	26.2	8.7
	販売個数前年比	100.8	99.4	101.7	100.6	101.8	102.2	101.8	105.6				
成分調整牛乳	販売個数	1,778	1,808	1,735	1,736	1,783	1,817	1,761	1,846	45.4	30.6	25.7	12.5
	販売個数前年比	86.9	85.0	83.8	84.0	85.0	86.0	84.3	87.3				
加工乳	販売個数	429	447	434	422	453	453	449	459	43.2	33.8	23.9	11.6
	販売個数前年比	88.0	90.5	90.9	89.1	89.4	91.0	89.4	93.9				
乳飲料	販売個数	5,011	5,062	5,036	4,838	5,210	5,240	5,247	5,421	30.4	20.5	15.6	5.9
	販売個数前年比	97.1	94.7	96.8	95.7	96.1	97.0	96.8	100.2				
	販売単価	182.0	182.2	182.2	181.8	180.7	181.8	181.4	180.9				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の週次動向(表⑤参照)

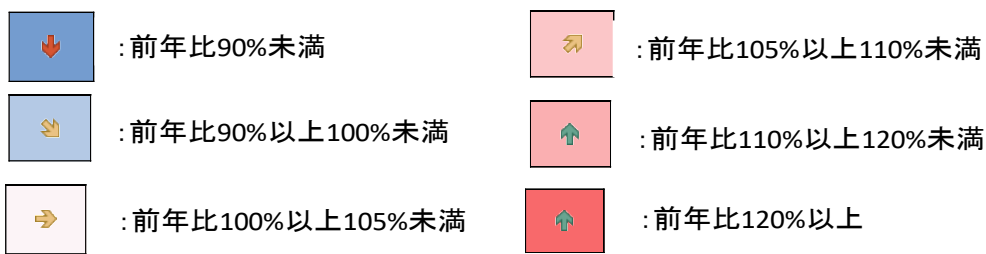
直近(5/25週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同100%以上、大容量タイプ(350~500ml):同105%以上。はっ酵乳全体としては、前年を下回った。(3品目合計販売個数は前年同期比100%以上、合計販売容量は同100%以上)。

(2)販売個数について、前週(5/25週)との比較では、3品目いずれも増加した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

品目	4.6-	4.13-	4.20-	4.27-	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘	→
個食タイプ	↘	↘	→	→	↘	↘	↘	→
大容量タイプ	↗	→	↗	→	→	→	→	↗



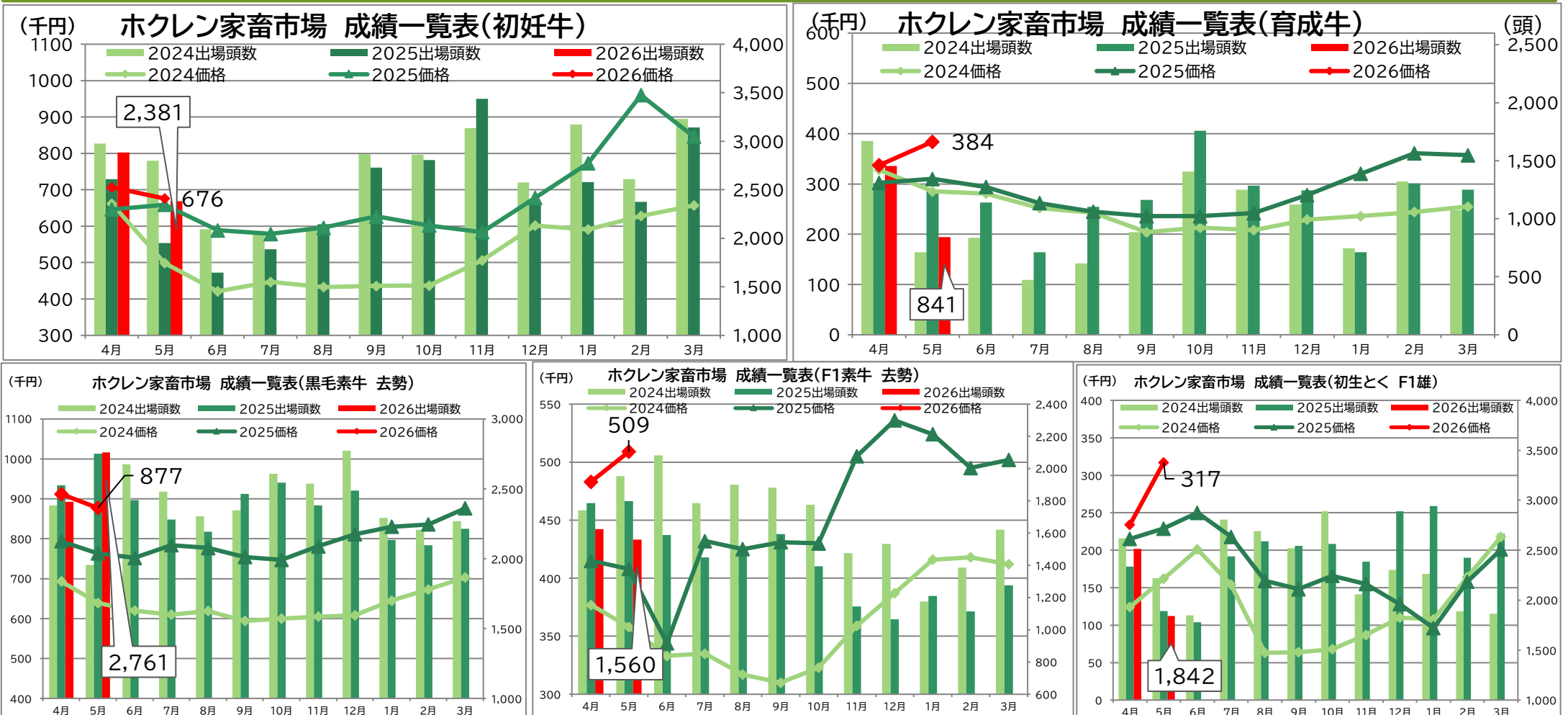
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家畜販売価格動向(税込)】

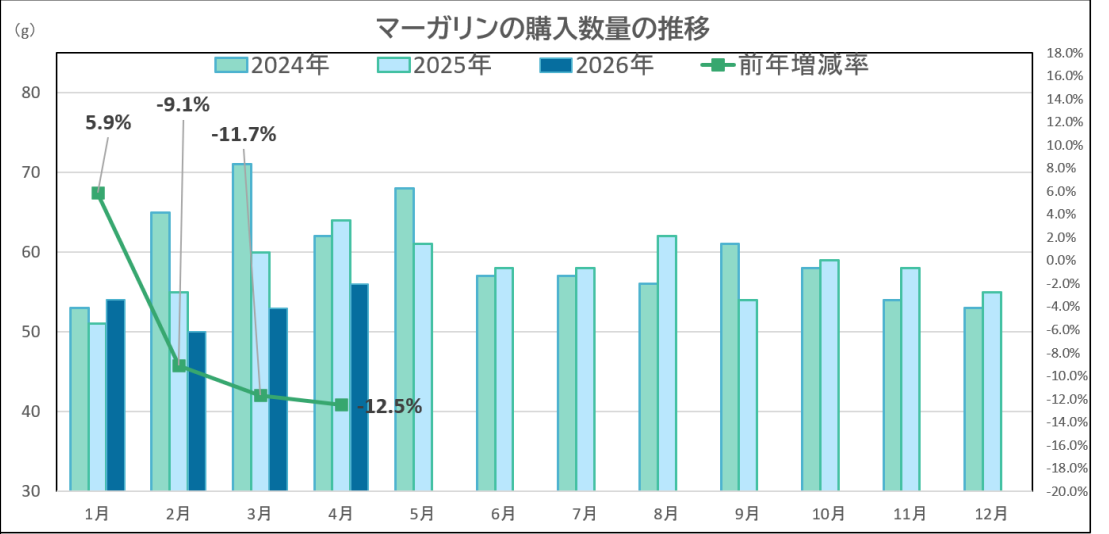
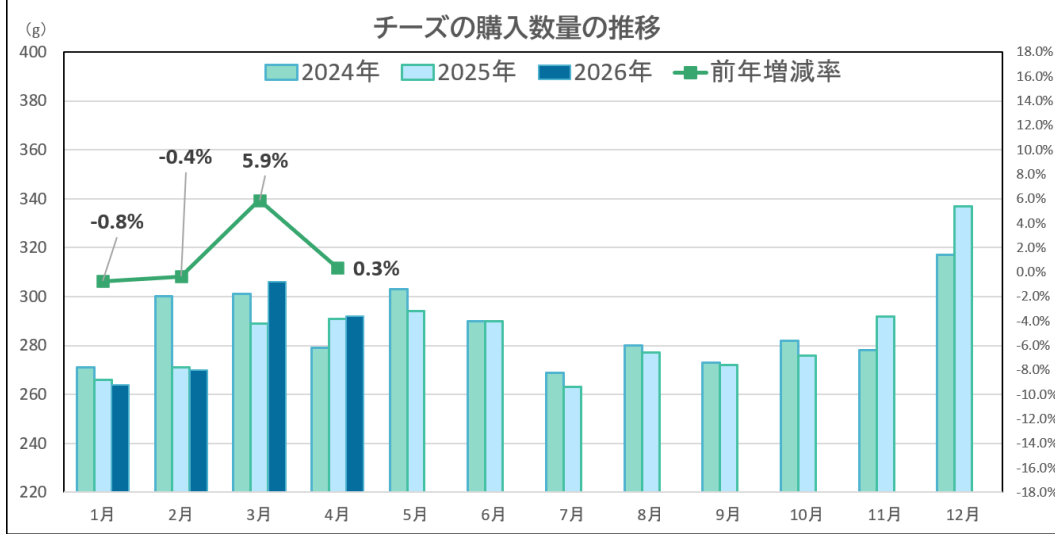
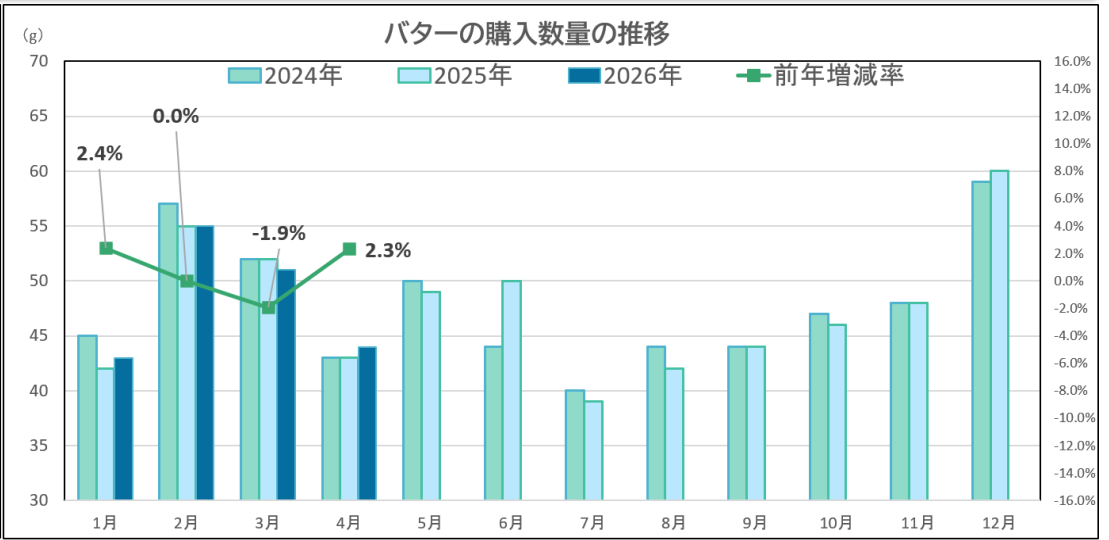
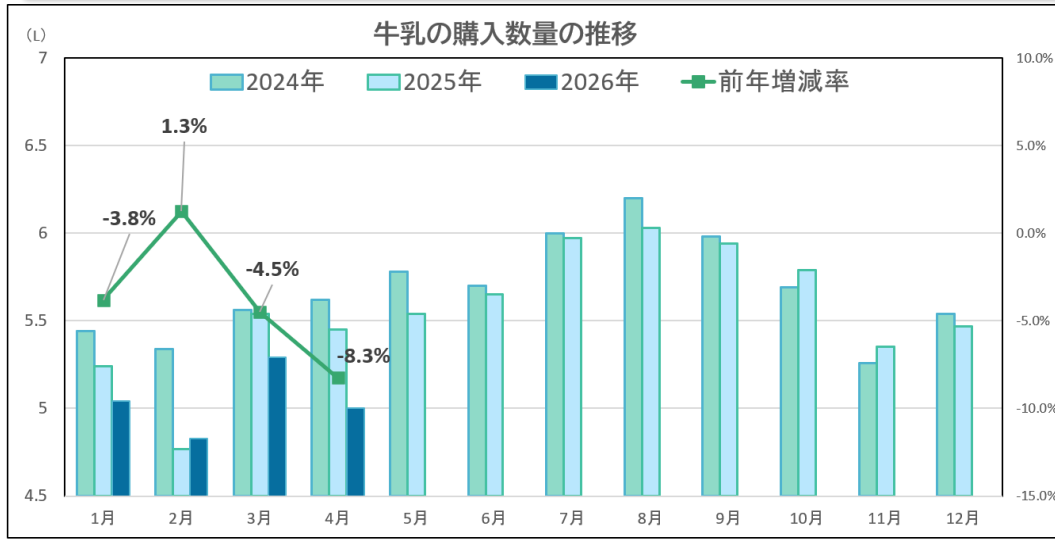
(1)5月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は676千円(前年同期比102.6%)、育成牛価格は384千円(同123.9%)、和牛素牛(去勢)価格877千円(同114.9%)、F1素牛(去勢)価格は509千円(同124.8%)。初妊牛は5カ月振りに70万円を下回り、育成牛は5カ月連続で30万円台を維持した。ホル初生(雄)価格は183千円(同183.8%)と、3か月連続で100千円を上回った(グラフ無し)。

(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同122.0%、育成牛:同67.9%、F1初生(雄):同97.4%、和牛素牛(去勢):同100.4%、F1素牛(去勢):同86.8%。

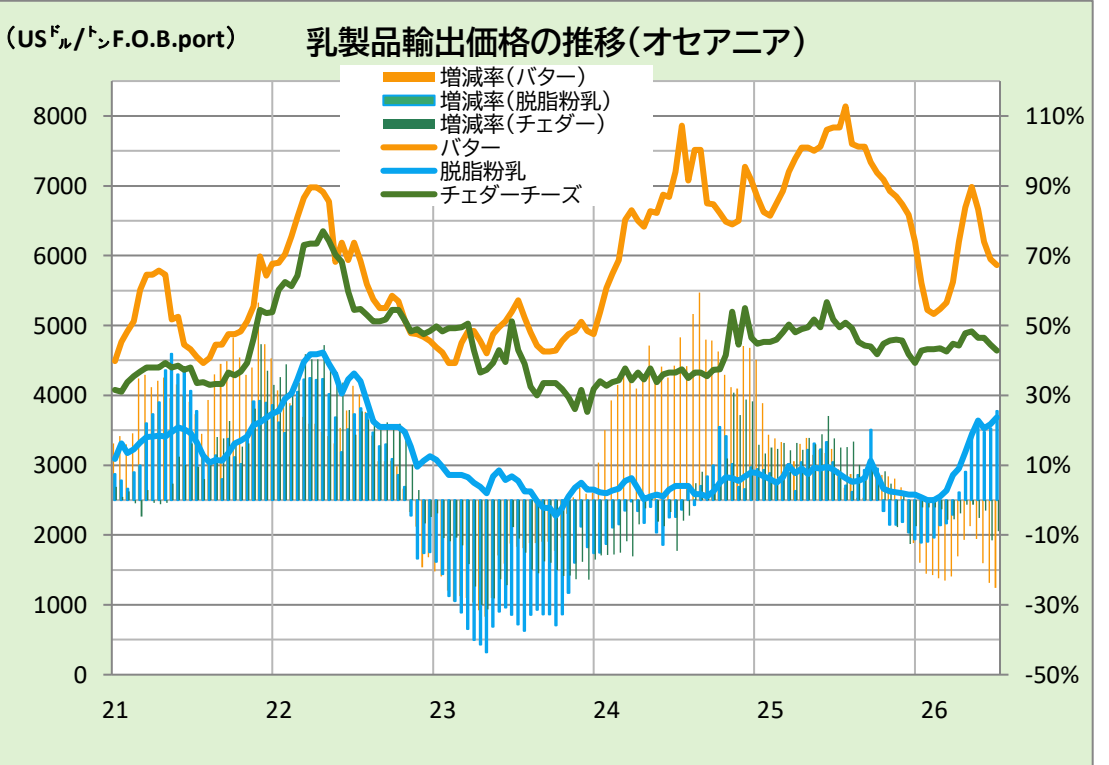
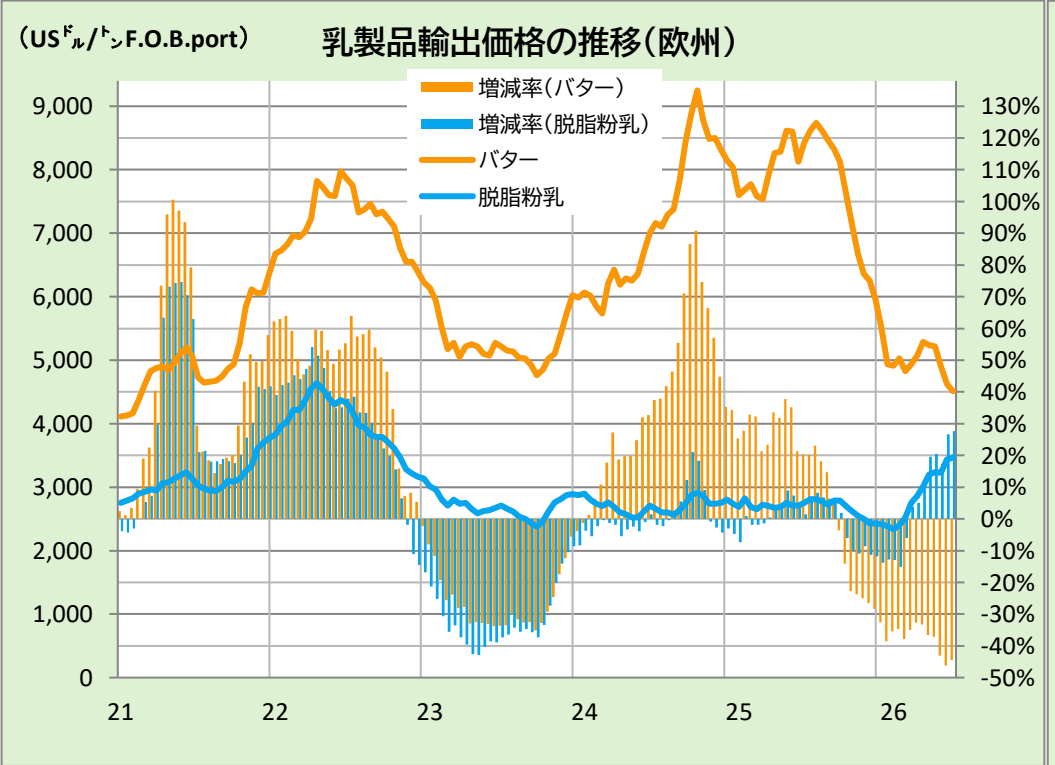
※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)







**【乳製品輸出価格の動向】**  
 (1)直近の乳製品国際相場について(5月下旬)  
 ・欧州:脱脂粉乳3,463ドル/ト、バター4,513ドル/ト中心。  
 ・オセアニア:脱脂粉乳3,688ドル/ト、バター5,863ドル/ト、チェダーチーズは4,638ドル/ト中心  
 ※出典:米国農務省(USDA)



※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」